

ディスパロン 308

非水系塗料・シーリング材用増粘・ダレ防止剤

ディスパロン 308 は水添ひまし油を主成分とする白色微粉末ダレ防止剤です。その効果を十分に発揮させる為にはビヒクル中で完全に分散し、さらに適度に加温膨潤させる必要があります。分散膨潤すると独特の連続的な網目構造を作り、分散系にチクソ性を与え増粘・ダレ防止剤として効果を発揮します。

■ 性 状 (納入規格ではありません)

外 観	白色微粉末
主 成 分	水添ひまし油
有効成分	100%
粒 子 度	30 μm 以下
融 点	86°C

■ 用途及び使用法

- ・ 合成樹脂塗料系全般、特に油性系（アルキド等）、シーリング材（シリコン系、ウレタン系）に適しています。
- ・ 分散機種は塗料の場合サンドミル、アトライター、三本ロールミル等を使用し、塗料製造初期のプレミックス段階で添加します。シーリング材の場合は二軸攪拌機等で加熱混合します。
- ・ 添加量は通常塗料、シーリング材に対し 0.2~1.0%（重量）の範囲で適正分散温度にて膨潤させます。この分散温度はビヒクル、溶剤等の種類や分散機種、分散時間によっても異なりますので総合的に考慮する必要があります。従って実際の使用に当たっては事前に確認検討をお願い致します。
- ・ 塗料等に分散時、制限温度を越えた場合、添加剤がビヒクル中に溶解し、冷却時に析出する際顔料凝集を伴い一部が顆粒になる事が有りますので注意が必要です。一方、添加時に適正分散温度を下回る場合、膨潤不足の為初期効果が弱い上、経時によって膨潤が進む事による粘度変化が発生し、安定性に支障をきたす事があります。

この製品の使用に関する当社の情報は信頼し得ると考えられるデータに基づくものですが、内容につきまして確たる保証するものではありません。製品の使用条件については弊社が制御出来ないからです。全ての製品は御需要家各位で適性を試験された上御利用頂くと共に全ての不注意や不適切な取扱いによる損害への補償は致しかねます。尚、安全性や取扱い方法についての詳細な内容が必要な場合には安全データシート(SDS)を御参照下さい。また本製品の御使用に当たっては御需要家各位で現存する特種物に抵触しない事を調査して頂くようお願い致します。

© 2018 All Rights Reserved By Kusumoto Chemicals, Ltd.